



所属・職位	福祉健康科学部 福祉健康科学科 社会福祉実践コース・教授	
氏名	松本 由美 (Matsumoto Yumi)	
取得学位	博士 (商学)、早稲田大学、2009年12月	
SDGs目標		

研究分野	社会保障論
研究キーワード	社会保障、医療保険、フランス、ドイツ
研究内容	<p>●人口高齢化等の変化に対応した医療保険者の編成に関する国際比較研究 (2019年4月～2023年3月)</p> <p>人口高齢化等の変化を背景として、医療保険の持続可能性を高めることが喫緊の政策課題となっているが、多数の保険者によって運営される日本の医療保険にとって、この課題への対応は容易ではない。日本と類似した医療保険制度を持つフランスとドイツでは、近年、保険者の編成をめぐる重要な改革が実施され、財政的安定や効率性・公平性の向上が図られている。そこで本研究は、フランス・ドイツとの比較考察に基づいて日本の医療保険者の編成の「あるべき姿」を示すことを目的とする。</p> <p>●予防重視型の医療保障システムの制度設計に関する研究 (2015年4月～2018年3月)</p> <p>人口の高齢化の進展にともなう医療・介護費用の増大が見込まれるなか、医療保障システムにおける「予防」の比重を高めることが必要となっている。本研究では、フランスとドイツの取組みについて検討し、次のようなことを明らかにした。両国では、人々の健康維持や疾病の悪化防止に必要な「予防」と「治療」を継続的・一体的に提供するための制度的な枠組みが整備されつつある。比較考察を通じて、日本において予防重視型の医療保障システムを構築するためには、かかりつけ医 (家庭医) の役割、恒常的な連携体制の構築、医療の質の向上を促す仕組み、および医療保険者の役割を検討することが重要であることが示唆された。</p>
研究業績・アピールポイント	<p>●論文</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 松本由美 (2020) 「フランスの補足的医療保険における連带的要素」『週刊社会保障』第74巻3100号、42-47. 2. 松本由美 (2020) 「医療保険制度における疾病管理—フランスとドイツの制度的対応からみえてくるもの」『健康保険』第74巻6号、14-19. 3. 松本由美 (2018) 「フランスとドイツにおける疾病管理・予防の取組み」『健保連海外医療保障』No.117、1-13. <p>●著書</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 松本勝明 (編著)、加藤智章、片桐由喜、白瀬由美香、松本由美 (2015) 『医療制度改革—ドイツ・フランス・イギリスの比較分析と日本への示唆—』旬報社.